

## 海事の現場から、 観光立国の最前線へ。

#採用5年目

#出向経験

#霞が関

#観光庁

### ● CONTENTS

1. 神戸運輸監理部への就職を選んだ理由
2. 今の仕事の内容について
3. 職場の雰囲気について
4. 国家公務員を目指す方へのメッセージ



現在の所属:(出向)観光庁観光地域振興部観光資源課

### ● 採用年度

令和4年度

### ● 入省後の経歴

1年目～:海上安全環境部船員労働・海技資格課

4年目～:観光庁観光地域振興部観光資源課

## 1. 神戸運輸監理部への就職を選んだ理由

大学では法律・政治学専攻ということもあり、海事の分野には全く知識がありませんでしたが、法律を扱う公務員ならば大学での学びを生かせるのではと考えたことと、なにより、大学時代の4年間を過ごした神戸という思い入れのある街で、この街で最も特徴的である「海」の分野に携われるということに魅力を感じ、就職を決めました。

## 2. 今の仕事の内容について

採用後の3年間は、船員労働環境・海技資格課にて、船員手帳の発行や、就業規則の確認、その他労働相談などの窓口業務を担当しながら、毎年9月から1ヶ月間開催される「船員労働安全衛生月間」では、船員さん向けの無料健康相談の開催調整や訪船点検などの業務にあたりました。

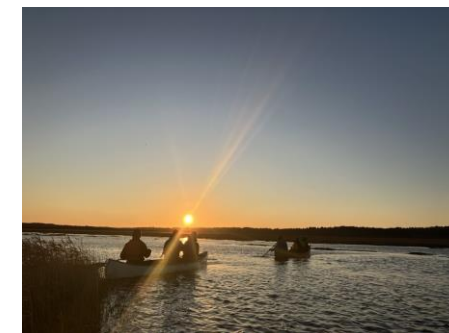
採用4年目にあたる昨年度からは観光庁(東京・霞ヶ関)へ出向し、現在で2年目を迎えます。私の所属する観光資源課は、その土地特有の観光資源を活かした観光コンテンツの造成支援

などを通じて、日本の観光地の魅力づくりを推進している部署です。その中でも、外国人旅行者向けのツアー等の催行を担う観光ガイドの確保・育成・活躍の場作りの為の支援事業を担当しています。具体的には、先進的な取組をしている地域を公募で募り、モデル地域として訪問・追跡をしながら知見を収集して、その結果を他の地域にも参考にしてもらえるように事例集という形で発信したりしています。

(出張先での風景、2枚とも北海道)



屈斜路湖



霧多布湿原(サンセットカヌーツアー)

観光庁に配属となってからは、窓口業務から企画事業へと転職したのかと錯覚するぐらい業務内容が変わったので、慣れるにはかなり時間もかかりました。

今でも難しい仕事だと感じる時も多いですが、観光庁の業務

はスケール感の大きい事業に携われることに、やりがいや影響力の大きさを感じます。係員という立場ながらも、事業の方向性を決めるような会議でも発言内容をしっかり取り込んでもらえますし、調整や資料作成、会議等での対応も増え、自分の成長機会に繋がっていると強く実感します。

### 3. 職場の雰囲気について

神戸運輸監理部は、他の運輸局に比べて支局や職員の数コンパクトな組織です。3年間の本局勤務を通じて職員の名前や人柄を概ねみんな把握できたことで、課を越えた連携や相談を気軽に行える、とても「アットホーム」な雰囲気のある職場だと感じています。休日にはBBQ会などのイベントが開催されることもあり、若手同士も自然と打ち解け、部署を超えてつながる機会がたくさんあります！

観光庁で私が所属する課は、なんと職員の8割程が出向者です。なので、同タイミングで初めて霞ヶ関に来た「同期」がたくさんいて、庁舎内の基本的な庶務から国会対応のルールまで、分からないことを気軽に聞き合える環境でした。

出向者には、運輸局から来た人もいれば、自治体や旅行会社などの民間企業から出向で来られた方など、多種多様な方が集まっており、仕事の進め方や専門知識はもちろん、出身、経験、価値観もさまざまで、そうした違いを持つ方々との交流は非常に刺激的です。

### 4. 国家公務員を目指す方へのメッセージをお願いします

民間企業を目指す周りの同級生より国家公務員は採用スケジュールが全体的に遅めなこともあって、周りと比べて不安や焦りを感じてしまったり、当時のことを思い返すと、人生なかでもトップクラスに精神的にとってもつらい時期だったなど記憶しています。

それでも、同時に多種多様な分野に就くことができる可能性をまだ秘めている、とてもチャンスにあふれた時期でもあるので、たくさんの省庁や機関、民間企業とも比較をして、納得できる選択肢を選ぶことができるよう陰ながら応援しています。(その結果、神戸運輸監理部を選んでもらえるなら大変嬉しく思います！)